



第 563 号 令和 7 年 6 月 1 日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
T E L (075) 256-0351
F A X (075) 241-3568
発行人 井 本 雅 美

成長曲線に基づく児童生徒の健康管理について

池田東小学校医 西 村 康 孝
(成長曲線活用マニュアル作成委員)

文部科学省は2016年の「学校保健安全法施行規則の一部改正（通知）」の中で、座高測定を必須項目から削除したことに伴って児童生徒の発育を評価する上で身長曲線・体重曲線等を積極的に活用することが重要であると記載しています。日本学校保健会から2018年に「成長曲線活用の実例」が発行されており、成長曲線作成プログラムが全国に配布されました。しかし、その後においても学校での身体計測が発育の評価に正確に反映されているとはいえず、医療機関などへの受診勧奨につながるケースが多いとはいえない状況でした。京都市学校医会では、2019年に「京都市における肥満とやせの指導マニュアル」を改訂し、肥満とやせについては各学校、養護教諭に協力をさせていただいておりました。そのため、日本学校保健会の子供の健康管理による成長曲線の分類（表参照）において、⑥～⑨については肥満とやせのマニュアルで対応できると考え、①～⑤についての新しいマニュアルを作成することで、養護教諭による一次判定が可能になると思われました。そこで令和 6 年度に京都市学校医会と京都市教育委員会体育健康教育部とで「成長曲線活用に基づく児童生徒の健康管理に関する小委員会」を立ち上げ検討してまいりました。その結果、令和 7 年度に間に合う形で「京都市における成長曲線活用マニュアル」を作成することができました。校医の先生方のお手元にも届いていることかと思えます。このマニュアルは日本学校保健会の分類を、より分かりやすく基準を示すことで要受診者の判定が容易になるよう工夫されています（校医ニュース令和 7 年 3 月

号参照）。それに伴い各学校で本年度より早速活用いただいているところです。

このようなマニュアルや指針を作成することにおいて常に問題になるのが事後処置についてです。ソフトで描かれた成長曲線をマニュアルと照らし合わせた上で、医療機関への受診を勧奨する、あるいは学校医と相談するという判断を養護教諭にしていたかなければいけません。できるだけわかりやすく基準は示していますが、それでも養護教諭の負担が増加しますし、学校医の中でも小児科専門でない先生方や内分泌疾患などを専門とされていない先生がおられます。そこでマニュアルでは、養護教諭、学校医で判断に迷うような症例については、各学校で一括して教育委員会にその資料を提出いただき、私を含め、木崎善郎顧問、松尾敏会員に成長曲線が送られ、「異常なし」、「経過観察」、「要受診」を判断させていただくこととしております。

学校における身長・体重の測定は以前より継続的に行われてきているものではありませんが、成長曲線などで発育を経時的に見ることで無症状でも疾病の早期発見につながる場合があります。学校医の先生方におかれましては、成長曲線を健康管理に活用することの重要性をご理解いただき、各養護教諭とご相談いただきますことをお願いするとともに、判断に迷うような症例は遠慮なく教育委員会を通じお問い合わせいただきましたら、できるだけ早急にお返事できますよう尽力いたしますのでご活用のごほどお願い申し上げます。

表.「子供の健康管理」による成長曲線の分類（成長曲線活用の実例 日本学校保健会）

- ① 身長値の最新値が97パーセンタイル以上（統計学的高身長）
- ② 過去の身長Zスコアの最小値に比べて最新値が1 Zスコア以上大きい（身長伸びが以上に大きい）
- ③ 身長値の最新値が3パーセンタイル以下（統計学的な低身長）
- ④ 過去の身長Zスコアの最大値に比べ最新値が1 Zスコア以上小さい（身長伸びが以上に小さい）
- ⑤ 身長値の最新値が-2.5Zスコア以下（極端な低身長）
- ⑥ 肥満度の最新値が20%以上（肥満）
- ⑦ 過去の肥満度の最小値に比べて最新値が20%以上大きい（進行性肥満増加）
- ⑧ 肥満度の最新値が-20%以下（やせ）
- ⑨ 過去の肥満度の最大値に比べて最新値が20%以上小さい（進行性肥満減少）
- ⑩ ①～⑨以外

新任校医挨拶



仁 木 俊一郎
(砂川小学校)

2025年4月から伏見区深草の砂川小学校の校医を拝命いたしました。私は2022年に伏見区深草で仁木医院を開業し、循環器内科を専門とし診療を行っております。日頃はおかかりつけ医として地域医療に携わっておりますが、地域の子供たち、職員の方々の健康管理に携わっていただけることをとても光栄に感じております。

校医は初めての経験でご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



小 森 友 貴
(栄桜小学校)

2025年度より栄桜小中学校の前期課程（小学校）校医を拝命致しました。栄桜小中学校は伏見区の小栗栖中学校区（小学校3校と中学校1校）が学校統合して出来た新設校です。

私自身、前職・京都第一赤十字病院の頃より学校保健にずっと関心を持っておりました。そして今回2024年9月に伏見区での小児科開業とほぼ同時に、ご縁ありこの新設校に通うお子さま達の健康管理に携われることとなりました。昨今、内科的なことに加え、メンタルヘルスの問題も増えてきていますが、是非楽しんで学校医の職務を遂行していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



大 前 禎 毅
(西総合支援学校)

2025年4月より西総合支援学校（神経）の学校医を拝命いたしました。

私は2021年1月に右京区西京極でおおまえハローキッズクリニックを開院し、地域の子ども・ご家族の心身の健康、（高度）医療的ケアを必要とする小児訪問診療などに携わらせていただけることに感謝しております。また、京都第二赤十字病院勤務時に北総合支援学校で医療的ケアを必要とする子ども・ご家族と学校の相談や指導などを行ってきた経験を積ませていただきました。こういった経験を生かし、児童・ご家族、教諭がより良い学校生活を送っていただけるよう努めて参りたいと考えております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



上 田 敦 志
(みつば幼稚園・
新町小学校)

2025年度より、新町小学校、みつば幼稚園の校医を拝命いたしました上田敦志です。

もともと岡山県の倉敷中央病院で血液内科医として勤務しておりましたが、2023年4月に京都大学大学院医学研究科血液内科学に進学し、大学院生として血液腫瘍に対する基礎研究を行っております。また、学業の傍らで母の運営する上田内科医院の診療を手伝わせていただいております。

今回、母の定年に伴い、新町小学校、みつば幼稚園の校医を引き継ぎさせていただくこととなりました。先日、緊張しながら初めての小学校健診、幼稚園児の健診を行いました。養護教員の方の的確なサポートのおかげでストレスなく終わり、逆にこちらが児童の屈託のない笑顔から元気をもらい、楽しませていただきました。責任感を持ちながらも、楽しむ気持ちを忘れず校医を続けていければと思って

おります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



中 原 宏
(西院小学校)

2025年4月より西院小学校の学校医を拝命いたしました。

以前から学校医として働かれている徳弘先生が高学年を、当方は主に低学年を担当させていただく予定です。

2010年に西院の地で中原ひろし小児科を開業し、15年という節目の年にこのような要請をいただき、大変嬉しく思います。

初めての学校医で、皆様にご迷惑お掛けすることもあると思います。

何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。

2024年度 東山学校医会総会報告

東山支部長 高 田 智 子

2025年4月13日(日)、ホテル日航プリンセス京都にて2024年度東山学校医会総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で5年ぶりの開催となり、前任の橋平誠先生のご尽力に感謝申し上げます。退任、私立学校等の学校医を含め計13名(井本雅美先生、木崎善郎先生、磯田圭先生、林純子先生、横井桂子先生、馬場満男先生、原田剛史先生、橋平誠先生、長村吉朗先生、中嶋毅先生、豊田友恵先生、北村香奈先生、高田智子)の参加でした。

会長の井本雅美先生には「学校医が感じている学校健診の問題点」についてご講演いただき、昨年1月に文部科学省から出された通知がメディアで「原則着衣で健診」と強調されたことにより、児童生徒や保護者の誤解を招く懸念を指摘されました。学校側と十分な打ち合わせをし、学校からも健診の方法

や意味を丁寧に伝えていくことが大切であるとのお話でした。

また、顧問の木崎善郎先生からは、「成長曲線を活用した学校健診—児童・生徒の成長を見守る—」というテーマで、9つの分類と判定基準に基づいた受診勧奨による早期疾患発見の可能性についてお話しいただきました。しかし、現状では約半数の児童が受診勧奨に該当してしまうことや、精度向上に向けた情報収集の難しさなど、今後の課題も示されました。

久しぶりの対面での総会は、私にとって初めての経験でもあり、雨天の中、退任された先生方にもご参加いただき、充実した時間を共有できたことに感謝いたします。今後も学校医会としての活動を通じて、さらなる改善に努めてまいります。

(4月15日記)

第 2 回 常任理事会

令和 7 年 6 月 7 日 於 事務局

出席者 井本会長、山内副会長、安野専務理事、大久保・小森・中嶋・西村・八田各常任理事、
新井眼科学校医会副会長、平杉耳鼻咽喉科専門医会学校保健担当理事、林議長、長村・
杉本監事

会長挨拶

<報告事項>

1. 令和 7 年度 京都市学校保健会第 1 回常務委員会 5 / 20 於：京都市総合教育センター
井本、平杉先生
2. 色覚相談 5 / 20、6 / 3 各 2 名
3. 成長曲線活用委員会 小学校 2 名 木崎顧問、
中学校 9 名 西村
4. ツベルクリン反応検査
接種 6 / 2、判定 6 / 4
於：京都市総合教育センター 安野
接種 6 / 3、判定 6 / 5
於：元有済小学校 長村、山内
5. 令和 7 年度 京都市学校保健会理事会・評議員
会開催通知について 7 / 8 14 : 00 ~
於：京都市総合教育センター
6. その他

<協議事項>

1. 京都市教育委員会との懇談会の協議題について
7 / 12 (土) 17 : 00 ~ 於：西陣 斎阿うん
2. 全理事会について 8 / 2 (土) 17 : 00 ~
於：祇園うを多

<関連学会・各種協議>

1. ツベルクリン反応検査 (全日 1 4 時 ~)
接種 6 / 9、判定 6 / 11
於：京都市総合教育センター 安野
接種 6 / 10、判定 6 / 12
於：元有済小学校 大久保
2. 精神衛生研究会 6 / 12 14 : 00 ~
3. 色覚相談 6 / 17、7 / 1 各 2 名
4. ワンポイント相談 6 / 19 15 : 30 ~
於：事務局 杉本、有井顧問
5. 三師会 6 / 21 18 : 00 ~ 於：天喜
井本・山内・安野、平杉先生、宮尾先生
6. 令和 7 年度京都市学校医会研修会
6 / 28 15 : 00 ~ 16 : 30 WEB
講演「発達障害のある子どもたちと教育の役割」
奈良県立医科大学精神医学講座
教授 岡田俊先生
八田座長、杉本、有井顧問
7. 西京支部会 6 / 29 17 : 00 ~ 井本
8. 第 3 回常任理事会 7 / 5 14 : 00 ~
於：事務局
9. その他

